

<再評価>

事業名 (箇所名)	総合流域防災事業(黒谷川)		担当課	河川整備課		事業主体	徳島県													
実施箇所	徳島県板野郡板野町																			
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業																			
事業諸元	全体計画延長 L=4250m、(築堤V=1,186m3、河道掘削V=100,637m3、護岸L=832m、橋梁等)																			
事業期間	平成14年度～令和8年度																			
総事業費(億円)	13.5億円			残事業費(億円)	3.3億円															
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績 ①被災頻度:S47(豪雨・台風20号)、S50(豪雨・暴風雨)、S51(豪雨・台風17号)、S54(豪雨・暴風雨)、H16(台風23号)、H26(台風11号) ②最大浸水戸数 :31戸[S50(豪雨・暴風雨)] ③最大農地浸水面積:315ha[S50(豪雨・暴風雨)]</p> <p>・黒谷川は、山麓から平地にかけて天井川を形成しており、急流であるため幾度となく洪水被害が発生しているため、住民から早期完成が望まれている。</p> <p>・近年では、平成26年台風11号で、床下2棟の浸水被害を被っており、河川改修を計画的に進め、流下能力の向上を図る必要がある。</p> <p><達成すべき目標> ・河川整備計画目標規模(年超過確率1/30)の洪水を安全に流下させる。</p>																			
便益の主な根拠	浸水軽減戸数:153戸 浸水軽減面積:150ha																			
事業全体の投資効率性	基準年度		令和3年度																	
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)		254.5		C:総費用(億円)		22.0		B/C		11.6		B-C		232.4		EIRR (%)		15.1	
感度分析	B:総便益(億円)		97.2		C:総費用(億円)		3.0		B/C		32.7									
感度分析					残事業(B/C)		全体事業(B/C)													
感度分析					残事業費(+10%~-10%)		29.8 ~ 36.4		11.4 ~ 11.7											
感度分析					残工期(+10%~-10%)		32.1 ~ 33.4		11.4 ~ 11.7											
感度分析					資産(-10%~+10%)		26.9 ~ 36.0		10.4 ~ 12.7											
事業の効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋の153戸が解消され、氾濫面積約150haが軽減される。</p> <p>・また事業実施前には、災害時要援護者439人、最大孤立者数126人、電力停止による影響人口35人などの人的被害が想定されているが、事業実施によりこれらの解消が見込まれる。</p>																			
社会経済情勢等の変化	<p>地域の協力体制: 事業促進要望が強く、地域の協力体制は良好である。</p> <p>地域の事業に対する社会的評価: 近年にも浸水被害が発生しており、地元からの期待が高まっている。</p>																			
事業の進捗状況	・平成14年度より事業に着手し、令和2年度末で進捗率は76%(事業費ベース)である。																			
事業の進捗の見込み	・現在黒谷川本川の用地交渉を行っているが、天井川の改修を行うためには両岸を同時に施工する必要が有るため、用地取得が難航すると事業進捗に支障がでる。																			
コスト縮減や代替案立案等の可能性	各事業の設計段階では比較検討を行い、施工段階では掘削土等の有効活用をすることでコスト縮減を図る。																			
対応方針(案)	継続																			
対応方針理由(案)	近年でも平成26年台風11号による浸水被害を受けており、これからも河川改修を行い、被害軽減に努める必要がある。																			
その他																				